

香港証券取引決済所および香港証券取引所は、本公告の内容について一切責任を負わず、本公告の正確性または完全性については一切表明を行わず、本公告の内容の全部または一部から発生し、または、それを信頼したことによるあらゆる損失に係る責任を明示的に否認します。



株式会社ダイナムジャパンホールディングス DYNAM JAPAN HOLDINGS Co., Ltd.*

(日本で設立された有限責任の会社)

(証券コード: 06889)

リゾート開発事業への参入のお知らせ

株式会社ダイナムジャパンホールディングス(以下「当社」といいます)の取締役会(以下「取締役会」といいます)は、当社及び当社子会社(以下「グループ」といいます)の次期有力事業としてリゾート開発事業へ本格的に参入することを承認致しましたので、お知らせします。

記

1. リゾート開発事業へ参入する主な理由

- (1) 48年のパチンコホール運営のキャリアによって培われた施設運営・管理及び接客業としての永年の経験が、リゾート開発事業への参入に大きな役割を果たします。
- (2) 1989年以来、大卒を毎年200名~300名採用し教育してきました。非常に優秀な人材を確保していることが、様々なオペレーション運営において強みを発揮します。
- (3) 2012年8月の香港上場によって安定的な財務体質が維持され、香港上場という世界基準の評価もリゾート開発事業の参入に大変有利に働くと考えます。
- (4) 取締役会は、リゾート開発事業への参入がグループにとって最良のビジネスチャンスであるとともに、当社の株主(以下「当社株主」といいます)への還元を高めるため、グループが事業範囲を多様化することは、当社株主全体の利益にかなうと考えております。

2. リゾート開発の候補地

- (1) 山口県下関市豊浦町大字涌田後地507番地に所在する『マリンピア黒井(現 マリンピア豊浦研修所)』は、従前 下関市最大のリゾート施設であったこともあり、ここを起点にリゾート開発を考えております。

3. 今後の対応方針

- (1) 7/1より『リゾート開発グループ』を新設して事業化を進めます。
- (2) 2015年度中にリゾート開発基本計画を立案し、2016年度の予算化を目指します。

取締役会の命を受けて
株式会社ダイナムジャパンホールディングス
取締役兼代表執行役 佐藤 公平

2015年6月23日 日本国 東京

本公告の作成日において、当社の常勤取締役は佐藤洋治氏及び佐藤公平氏、非常勤取締役は牛島憲明氏、独立非常勤取締役は、堀場勝英氏、高野一郎氏、吉田行雄氏、加藤光利氏およびトーマス・チュン・キー・イップ(Thomas Chun Kee YIP)氏です。

*本書は、英語版を原文とし参考のために日本語訳したものです。日本語版と英語版の内容に相違がある場合、英語版が正しいとみなされます。翻訳による誤解については、いかなる場合においても株式会社ダイナムジャパンホールディングスの責任とはされませんのでご了承下さい。